

媛ラボ事例共有資料

■事業名：ムスリム受け入れ整備事業

■メンバー：小林・岩崎（ドウゴノオヤド・ユニークツアー）・松本（ムスリム人材コーディネート）

■目的

・経済成長が著しいアジア圏のムスリム観光客の受け入れ整備

■事業内容

・ムスリム文化の理解（旅行中の礼拝時間の確保や礼拝所の設置方法、ハラール食の提供方法など）

■事業内容

・県内在住のムスリムの方を交えた、具体的な対応についての質疑応答や、礼拝所設置のレクチャーを受けることで、今後の急増が見込まれるムスリム観光客の受け入れ整備に役立てる。

■参考イメージ





インドネシアからの留学生 fad さんを招いて、神戸市の取り組み事例を基に

- ・礼拝時間の確保について
- ・手洗い場所等の考え方について
- ・食事の規律について等、

必ず守らなければならない部分と、柔軟な対応が可能な部分をディスカッションした。現状での対応で受け入れ可能な部分が多くあることで安心の表情のメンバーたち

Fad さんのレクチャーの元、礼拝場所を設置してみた。

場所は、「ドウゴノオヤドイワサキ」館内の着付け室。礼拝の方向（キブラ）がわかるキブラコンパスや、サラート（礼拝）の時間が分かるタイマーなど、必要なものはスマホアプリにあるので、準備するものは、礼拝マットのみ（Amazon 等で 2000 円前後）